

Eco & Peace Navigator

エコ&ピース ナビゲーター

2023年
11月号
Vol.40

食材のお届けだけじゃない!
パルシステム東京の
社会活動をご紹介します。



〈環境編〉

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

発行日：2023年11月6日
発行：パルシステム東京 組織政策推進本部

いまや3R「発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）」は学校でも習う世の中の常識となっていますね。私たちのちょっとした選択で環境への負担を減らすことができます。パルシステムのリユースにはどんな特長があるのか、なぜ地球に良いのか、一緒に考えてみましょう！



なるほど！ もとめたいくなる

パルシステムのリユース・リサイクル クイズ

パルシステムのリユース・リサイクルに関するクイズ4問に答えてプレゼントをもらおう！
全問正解者から抽選で5名様に組合員開発商品の石けん『サボンドパルファン』（95g×2）
1点をプレゼント

クイズⅠ

商品のまとめ袋や米袋などのプラスチックはなぜパルシステムへもどすと良いの？
「パルシステムでは〇〇〇しているから」

- ①海外へ輸出
- ②サーマルリサイクル
(燃やして熱エネルギーを作る)
- ③マテリアルリサイクル
(新たな製品を作る原料にする)
- ④東京湾の廃棄物処理場に埋立て

<ヒントはこちら>Ⅰ



クイズⅡ

パルシステムの紙パックやABパック（内側が銀色）、ヨーグルトカップなどはパルシステムにもどした後、何になる？

- ①段ボールや雑誌などの紙製品
- ②トイレトペーパー・ティシュペーパー
- ③建築現場で使用される資材
- ④たまごパック・お料理セットトレー

<ヒントはこちら>Ⅱ



クイズⅢ

リユースびんをパルシステムにもどしてリユースする場合と自治体に出してリサイクルする場合のCO₂排出量と回収コストで正しいのはどれとどれ？
(2つ選んでね)

- ①パルシステムにもどす場合、CO₂排出量は90g
- ②自治体に出す場合、CO₂排出量は90g
- ③パルシステムにもどす場合、回収コストは0円
- ④自治体に出す場合、回収コストは0円

<ヒントはこちら>Ⅲ



出典元：びん再使用ネットワーク
※ 数値は「リユースびん」500ml 1本あたりで算出
※ CO₂は「製造・輸送廃棄」に関わる排出量

クイズⅣ

パルシステムの「地球の未来にまじめなボディソープ」は原料にこだわっていますが、ボトルにもこだわりがあります。どんな特長があるのでしょうか。

- ①折りたたんで小さく捨てられる
- ②生分解性のプラスチック製で廃棄しても土にもどる
- ③使い終わった後に土に埋めると花が咲く
- ④紙製でパルシステムにもどすとトイレトペーパーなどにリサイクルされる

<ヒントはこちら>Ⅳ



組合員番号：

ご連絡先：

組合員名：

〈キリトリ〉

以下の①または②の方法でご応募ください。当選者の発表は12月中旬頃の賞品の発送(配送便)をもってかえさせていただきます。

<クイズ回答>



- ①左の二次元コードから応募(応募締切：11月30日まで)
- ②答えの番号に直接〇をつけて点線で切りとり、組合員番号、ご連絡先、組合員名をご記入の上、封筒にて下記あて先にご郵送ください。(11月30日消印有効) ※封筒・郵便切手代は応募者のご負担となります。
〒169-8526 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクサス東新宿7階 パルシステム東京環境推進課宛

こちらはまだまだ受付中

リユースびんを返却して応募すると当たる♪

パルシステムのリユースびんは全部で48種類！

マークがついているびんを返して、図書カードを当てよう！

キャンペーン期間中にリユースびんをパルシステムに返却し、注文用紙・

注文サイトから、注文番号190381と数量の欄に【返却した本数】を記入、

もしくは下記二次元コードから返却本数を申告すると抽選でプレゼント！

■キャンペーン申込期間 9月18日(月)～12月1日(金)まで

■注文入力受付 10月1回～12月1回注文分まで

・期間中、返却本数の申告(応募)は何度でもできます。

返却本数は加算されます。

・プレゼントの当選者の発表は、来年1月下旬頃の賞品お届けをもってかえさせていただきます。

リユースびん
返却キャンペーン



10月から小型ヨーグルトカップの
回収が始まりました！！

組合員の皆さんからご要望が多かった「クリーミーヨーグルト」75gと「ヨーグルト(生乳50%)」75gの小さいヨーグルトカップの回収が始まりました。

洗って開いて乾かして、パルシステムにおもってください。

あなたの出したヨーグルトカップがトイレトペーパーやティシュに生まれ変わります。

回収します



パルシステムのリユース・リサイクルクイズの答えは次回エコ&ピース紙面またはパルシステム東京HPにて12/1～12/22まで公開します。



(パルシステム東京HP)

〈平和編〉

「へいわってすてきだね」

この絵本は、沖縄県の与那国島の少年が作成した詩をもとに制作されました。防衛力強化の最前線の小さな島は、「平和の島」から「国防の島」へと大きく変貌しています。2022年12月に閣議決定された新しい安全保障政策では

- ・中国、北朝鮮、ロシアを脅威とする。
- ・軍事費を5年で1.5倍に増額する。
- ・アメリカなどの同盟国へも含め、武力攻撃の恐れがあるときに、実際の被害を待たずに相手国への攻撃ができるようにする（反撃能力の保持）など、今までの安全保障から大きく転換した内容になっています。今こそ「平和外交による安全保障の立て直し」が必要ではないでしょうか？市民一人ひとりを守るための安全保障政策——その中の論点を考えていきましょう。



詩：安里 有生 画：長谷川 義史 ブロンズ新社

◆ 私たちの暮らしのための予算はどうなってしまうの？

政府は、今回の安全保障政策の中で、防衛費の総額を2027年度までの5年間で43兆円、GDP比を2%にまで増額するとしています。そのための財源として、東日本大震災の復興のため、一時的に所得税に上乗せしている「復興特別所得税」の一部も組み込む案が出されました。2024年度以降、防衛費のための増税も示唆されています。貧困や格差の解消といった政策が求められている今、私たちの暮らしのために使われる予算を拡充すべきです。



◆ 私たちは置いてけぼり？「閣議決定」という決定プロセス

例えば、法律を制定する場合は、閣議決定のあと、国会での審議を経て成立します。しかし、安全保障政策は法律ではないため、閣議決定のみで方針が示されてしまいました。国民の生活に大きな影響を与え、国民の権利を侵害する可能性がある重要な政策が、国民の代表者で構成される国会での審議を経ずに決まってしまったのです。国民に対して十分な説明をしていないということだけではなく、暮らしの視点や、私たち市民の声が反映される機会がない「閣議決定」というプロセスに、非常に問題があるとされています。

悲惨な経験を繰り返さないために
戦争体験を募集しています

ご自身やご家族の戦争に
まつわるお話を募集して
います。投稿はこちら▶



またはパルシステム東京HPで「戦争
体験」と検索してください。



◆ 平和的な外交政策に最大限注力を

今回決定した安全保障政策は、平和的な外交政策とは相反するものです。食料とエネルギー資源の多くを輸入に依存している日本の現状では、持続的な平和外交で周辺国と良好な関係を築いていくことが不可欠です。先日紛争が勃発したパレスチナ問題に見られるように、万が一武力衝突が起こってしまった場合、その解決には何十年、何百年と月日が必要になります。ますます国際社会の分断が進む中、防衛力を強化することによる安全保障の前に、長年にわたって築いてきた対話による平和的外交に努めることが最優先ではないでしょうか。

オスロ合意30年とパレスチナ難民

国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）
上級渉外顧問 角 幸康 氏

国連パレスチナ難民救済事業機関は、1949年の国連決議によって設立されました。パレスチナ難民の救済のため教育や保健などの事業を行っています。

1948年にイスラエルが国家独立すると、第一次中東戦争が起こり、パレスチナ難民が発生しました。オスロ合意は、パレスチナ問題解決を目指し、1993年にイスラエルとパレスチナ解放機構（PLO）の間で成立した和平に関する合意です。

ところが、本合意の意志に反し、30年経った2023年の現在まで、和平交渉は停滞し、暴力の応酬が激化しています。

そして、直近の10月には、イスラエルとガザ地区を実効支配するハマスとの紛争が勃発しました。

パレスチナ問題は、解決の糸口は見えていませんが、当事者は、対話の道を閉ざさず、和平に向けた意志を持ち続けることが重要です。

